

第2章 大阪狭山市の健康・食育に関する現状

1 人口動態

(1) 人口の推移

本市の総人口の推移は、わずかながら増加しており、0～14歳の子どもの数も約8,000人前後で維持しています。しかし、高齢化率は年々上昇し、超高齢社会であることには変わりはありません。

また、人口の将来推計を見ると、全国と同様に減少することが予測されており、令和27年（2045年）の高齢化率は約40%になると言われています。

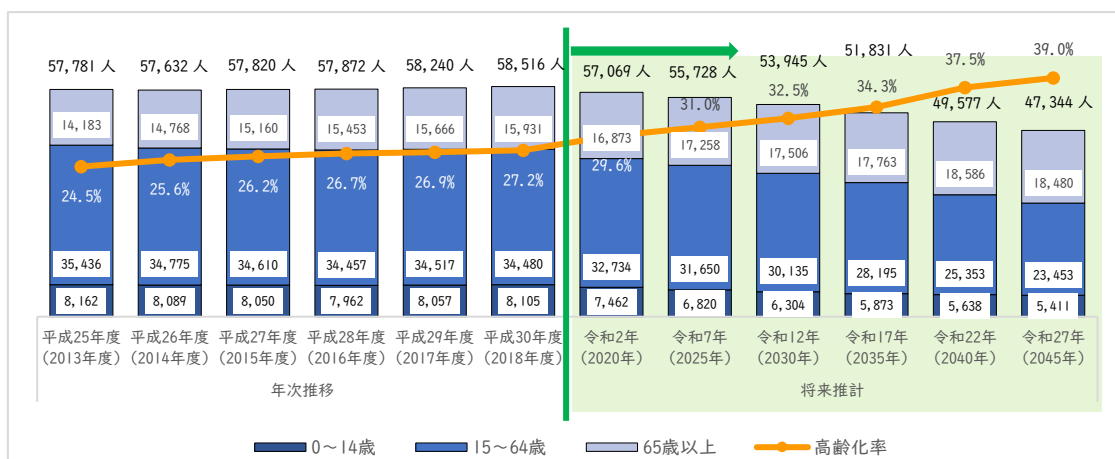


図2-1 大阪狭山市年齢3区分別人口及び高齢化率の年次推移と将来推計

〔資料：大阪狭山市住民基本台帳（各年度3月末人口）及び国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）〕

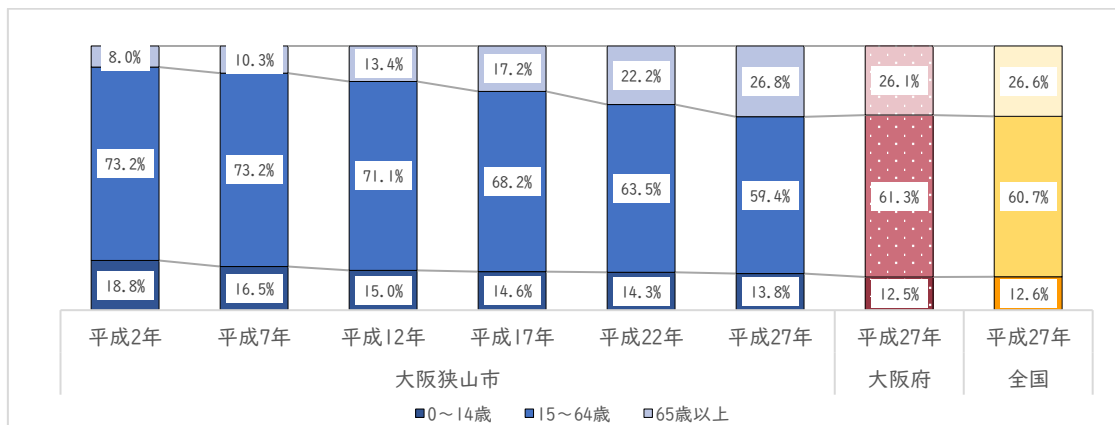


図2-2 大阪狭山市年齢3区分別人口構成の年次推移及び大阪府・全国との比較〔資料：総務省統計局国勢調査（平成2年～27年）〕

(2) 出生数・合計特殊出生率²の推移

本市の出生数は、ここ数年横ばいです。また、合計特殊出生率を見ると、平成15年（2003年）～平成19年（2007年）まで下がり続け、平成20年（2008年）～平成24年（2012年）には平成5年（1993年）～平成9年（1997年）の水準にまで回復しています。しかし、合計特殊出生率は依然として全国や大阪府より低く、本市において少子化は由々しき状態です。

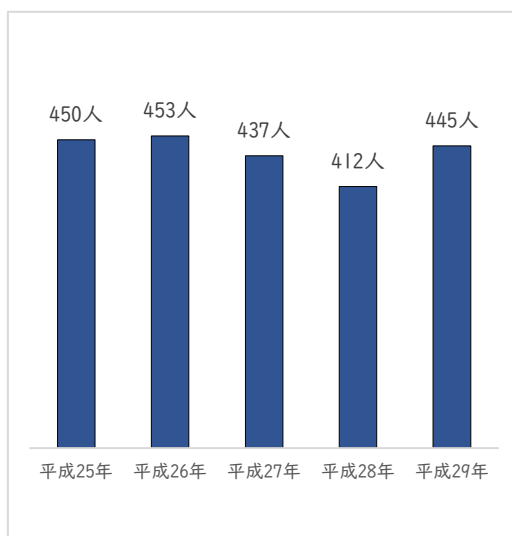


図2-3 大阪狭山市の出生数推移

〔資料：大阪府 人口動態統計〕

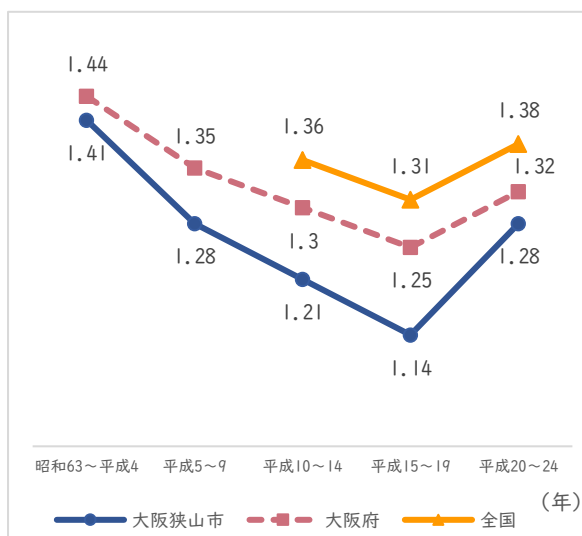


図2-4 合計特殊出生率の推移（大阪府・全国との比較）

〔資料：厚生労働省 人口動態統計特殊報告〕

² 15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。一人の女性が一生の間に産む子どもの数に相当する。

(3) 死亡と死因

本市の平成25年（2013年）～29年（2017年）の年間平均死亡者数を主要死因別で見ると「悪性新生物」が154.2人（32.2%）で最も多く、「心疾患」が76.4人（16.0%）、「肺炎」60.2人（12.6%）と続いています。

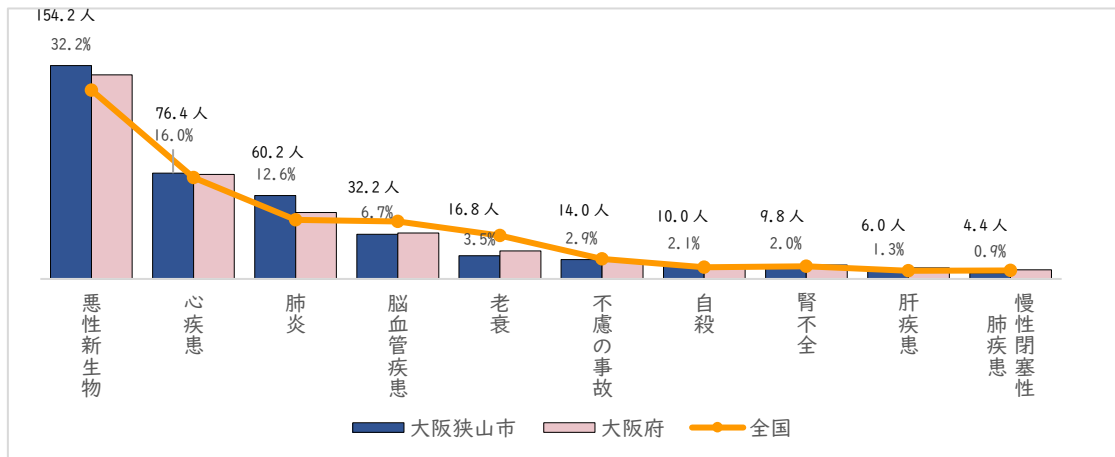


図2-5 死亡総数に占める主要死因の割合（平成25年～29年の合計）及び大阪狭山市死因別死亡数（平成25年～29年の平均）
 [資料：大阪府 人口動態統計及び厚生労働省 人口動態統計（平成25年～29年）]

標準化死亡比は、年齢構成の違いの影響を除いて基準となる集団と死亡率を比較する指標です。標準化死亡比は、基準となる集団（この場合は全国）を1.00として、1.00より高ければその地域の死亡は基準集団より多いということを意味します。

本市において、全国・大阪府全体と比べて特に標準化死亡比が高い死因は、男性では「白血病」「肺炎」「心疾患」、女性では「肺炎」「自殺」となっています。なお男性の「乳がん」による死亡が、5年間で1人ありましたが、数が少ないため、標準化死亡比の数値は掲載していません。

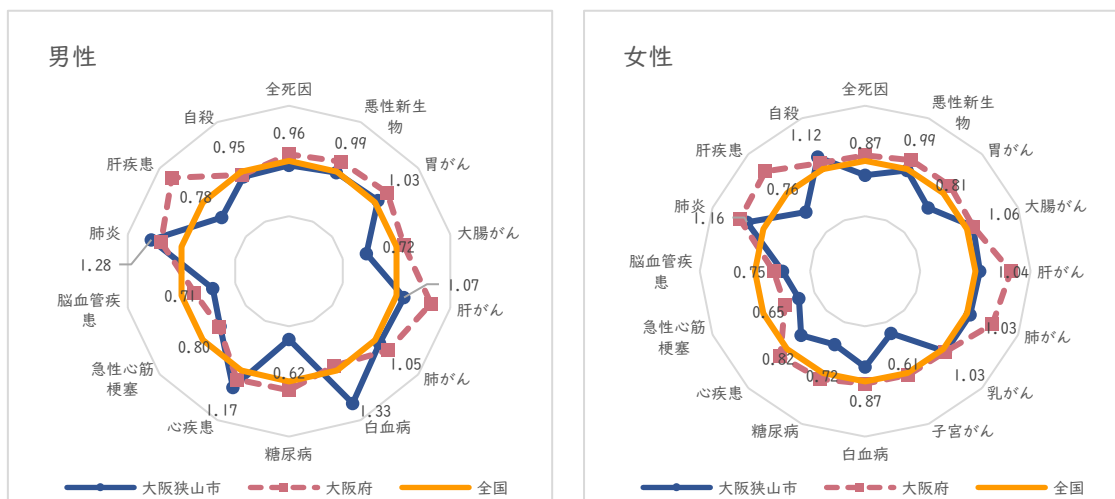


図2-6 主要死因別に見た標準化死亡比（平成20年～24年の平均） [資料：大阪府富田保健所管内の公衆衛生の動向（平成26年7月）]

2 要支援・要介護認定者数の推移

要介護認定者数は、高齢化の進行を背景に年々増加し、平成30年度（2018年度）は3,012人で、平成21年度（2009年度）に比べ792人増で、約1.4倍となっています。

平成21年度（2009年度）と平成30年度（2018年度）を比較すると、要支援1と要介護1の認定者数が大きく増加しています。

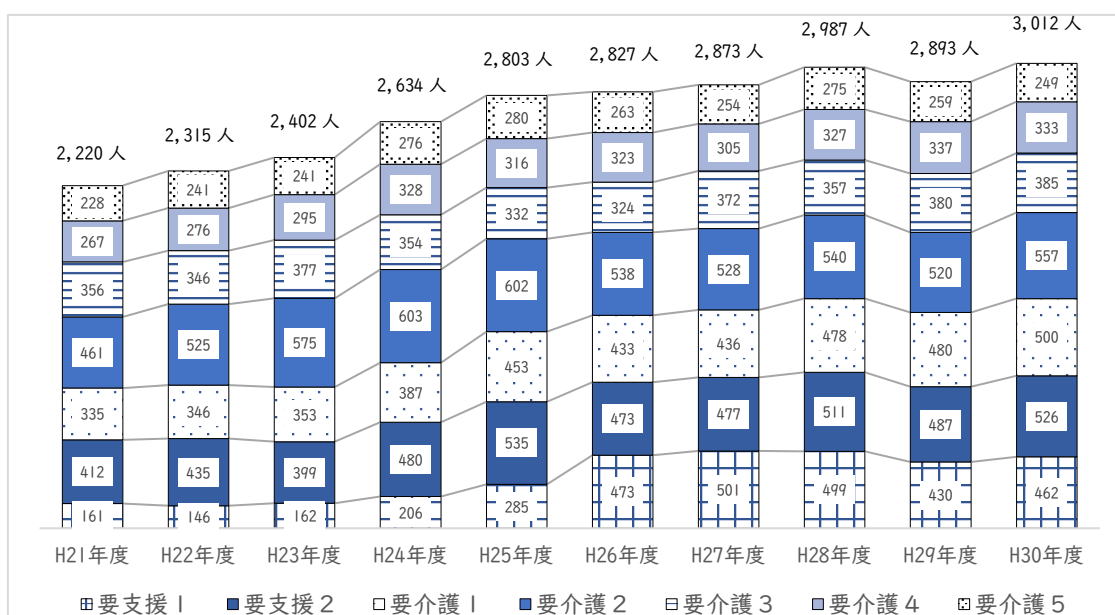


図2-7 大阪狭山市の要支援・要介護認定者数の推移 [資料：大阪狭山市事務事業概要実績報告書]

3 レセプトデータからみた疾病の状況

(1) 年齢階級別の医療費の比較

本市国民健康保険のレセプトデータを年齢階級別に見ると、外来の被保険者1人当たりの年間医療費は60歳代後半から増加しています。

入院の医療費は60歳代前半から増加しています。40～50歳代は大阪府内市町村の平均よりかなり低いですが、60歳代になると、府内市町村平均との差が小さくなります。

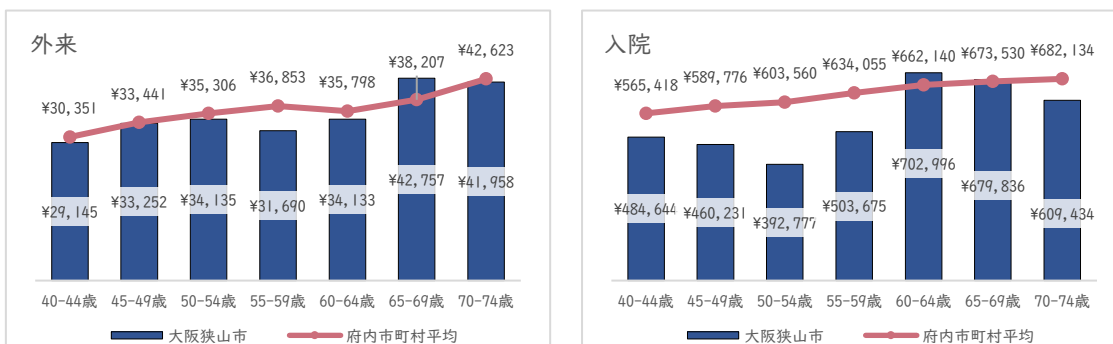


図2-8 大阪狭山市国民健康保険の年齢階級別の医療費 (平成30年度) [資料：大阪府循環器疾患予防研究受託業務報告書 (平成30年度)]

(2) 主要疾患別の被保険者1人当たりの1か月の医科医療費

本市国民健康保険の医療費を主要疾患別に見ると、外来の1人当たりの1か月の医療費は「悪性新生物」が最も高く、次いで「高血圧・動脈硬化」「腎不全」と続き、大阪府内市町村の平均より高い状況です。入院の医療費も「悪性新生物」が最も高く、次いで「精神・神経科」「整形外科」と続きます。府内市町村の平均との大きな差はありません。

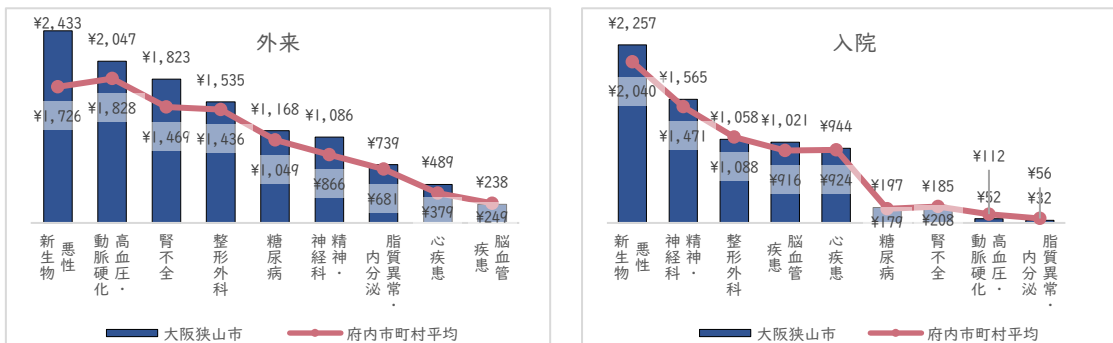


図2-9 大阪狭山市国民健康保険の主要疾患別の被保険者1人当たり月間医科医療費 (平成28年～30年の5月受診分平均)

[資料：大阪府循環器疾患予防研究受託業務報告書 (平成30年度)]

(3) 年齢階級別の主要疾患の受療率

高血圧や糖尿病で医療機関を受診する人は、年齢とともに増加しています。大阪府内市町村の平均と比較すると、高血圧では大きな差はなく、糖尿病では本市のほうがやや低い状況です。

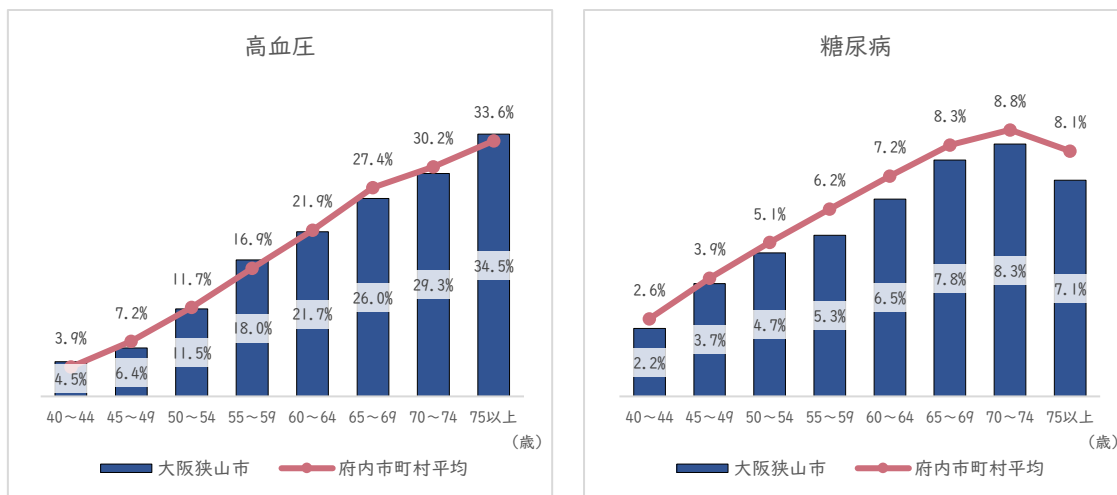


図2-10 大阪狭山市国民健康保険の年齢階級別の主要疾患による受療率（平成28年～30年の5月受診分平均）

※比較対象の府内市町村平均は平成25年～27年5月の平均です。〔資料：大阪府循環器疾患予防研究受託業務報告書（平成30年度）〕

また、年齢階級別の受療率の推移を見ると、平成20年（2008年）～平成27年（2015年）では大きな変化は見られませんが、平成28年（2016年）～平成30年（2018年）は高血圧や糖尿病で医療機関を受診する人が増加しています。

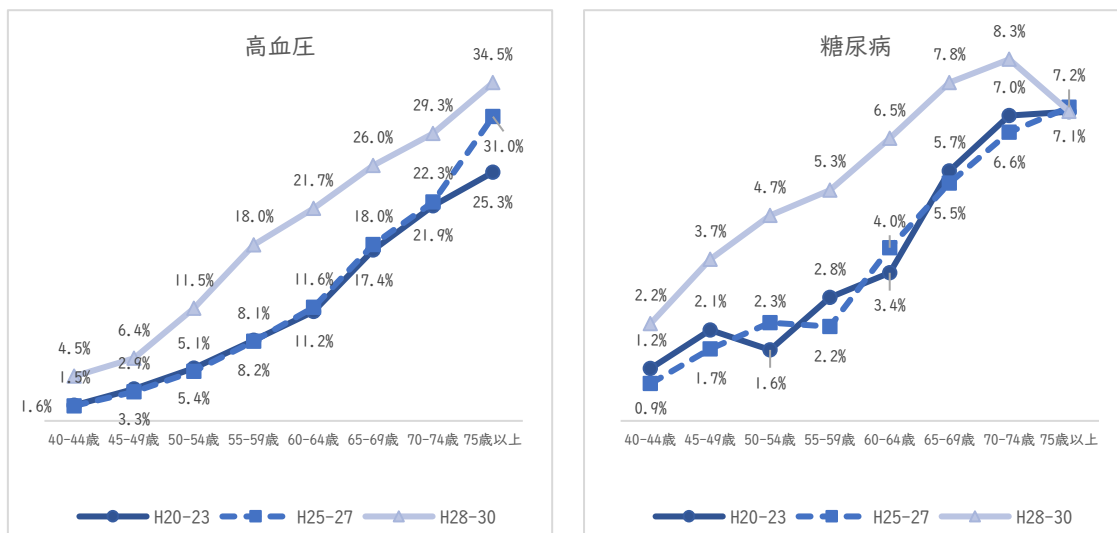


図2-11 大阪狭山市国民健康保険の年齢階級別の主要疾患による受療率の推移（各年5月受診分の平均）

〔資料：大阪府循環器疾患予防研究受託業務報告書（平成30年度）〕

(4) メタボリックシンドローム³該当者・予備群の推移

本市国民健康保険の特定健康診査結果では、男性のメタボリックシンドローム予備群、該当者はともにやや増加傾向です。女性では、メタボリックシンドローム予備群は横ばいですが、メタボリックシンドローム該当者がやや増加傾向です。

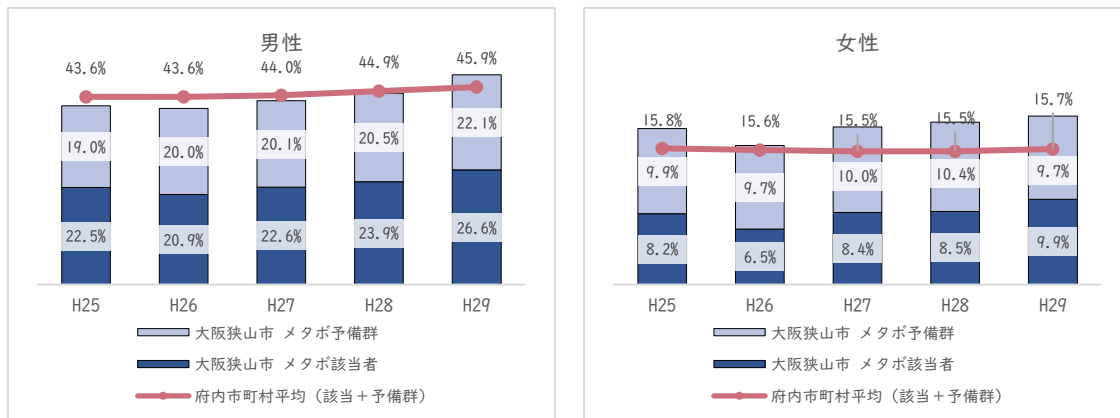


図2-12 大阪狭山市国民健康保険のメタボリックシンドローム判定推移（平成25年度～29年度）

〔資料：大阪府循環器疾患予防研究受託業務報告書（平成30年度）〕

(5) 平均寿命と健康寿命

大阪狭山市の健康寿命⁴の推移を見ると、男女ともわずかに上昇傾向にあります。大阪府は健康寿命が短い都道府県ですが、大阪府内では平均を超えています。

また、平成29年（2017年）の本市の平均寿命と健康寿命の差を見ると、男性で1.64年、女性は4.06年の差があります。この差は「日常生活動作が自立していない期間」であり、この期間を短くすることが大切です。

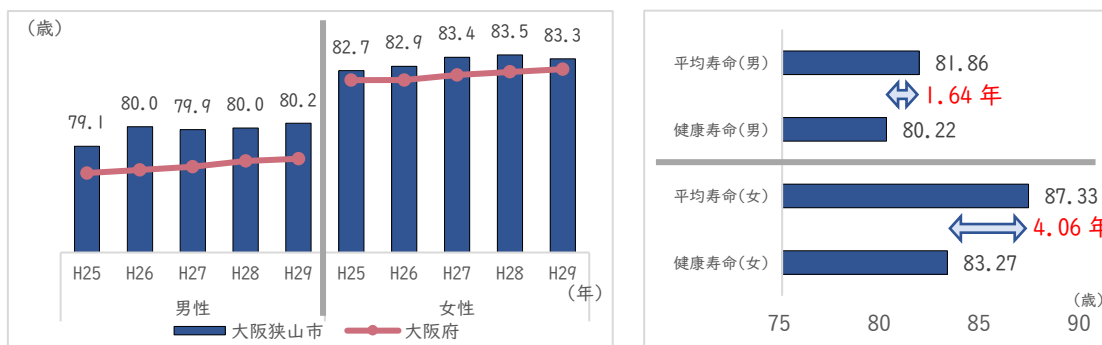


図2-13 大阪狭山市の健康寿命の推移（平成25～29年）及び平均寿命との比較（平成29年）〔資料：大阪府提供（令和元年度）〕

³ 内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中などになりやすい病態。

⁴ 大阪がん循環器病予防センターが算出。介護保険の要介護2～5に該当しない人を「健康な状態」としている。

4 大阪狭山市の農業・特産品・郷土料理

(1) 大阪狭山市の産業就業者数

産業3部門別⁵に見ると、本市の産業就業者数は、第三次産業が大きな比重を占め、農林水産業を含む第一次産業就業者の割合はわずか0.7%です。

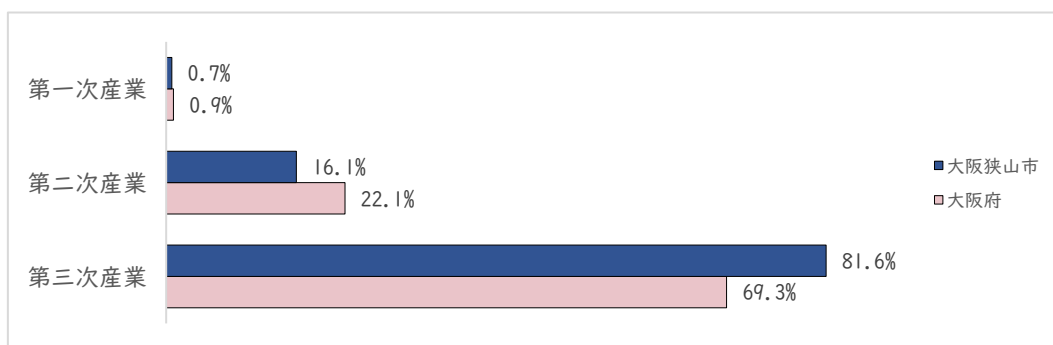


図2-14 大阪狭山市の産業就業者数（大阪府との比較） [資料：国勢調査（平成27年）]

(2) 大阪狭山市のおもな農産物

大阪狭山市で収穫される主な農産物の作付面積は、米が最も多く、続いてぶどうとなっています。

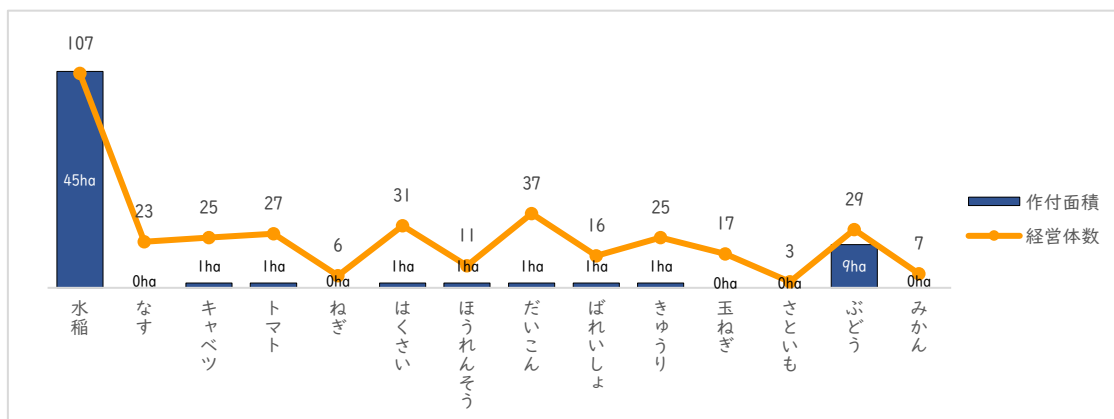


図2-15 大阪狭山市の作付面積及び農産物経営体数 [資料：農林水産省 市町村の姿、グラフと統計でみる農林水産省（平成27年）]

⁵ 第一次産業：農業、林業、漁業など
 第二次産業：鉱業、建設業、製造業など
 第三次産業：電気・ガス・水道業、運輸業、小売業、金融業、サービス業など

(3) 大阪狭山市の農作物を使った「さやまのええもん⁶」



大野ぶどう

100年以上の歴史があり渋みが少なく糖度が高いことで有名です。

産地直売が特徴で毎年7月から8月に市内各所に直売所が立ち並びます。



桃太郎とまと

「桃太郎とまと」「フルティカとまと」を完熟で収穫し直売しています。

とまと農園での販売は、4月上旬～9月下旬にかけてです。



大野ぶどうのワイン

原材料は、大野ぶどうのみです。大阪狭山が誇る大野ぶどうのワインです。完熟デラウエアのロゼワインや、オリジナル品種を使用したワインなど、他では味わえないワインです。



大野ぶどうのジュース

原材料は、大野ぶどうのみです。添加物を一切使用しない製法にこだわり素材の味を大切にしています。糖度を表すBrix値が20前後の濃厚なジュースです。



大野ぶどうのジャム

原材料は、大野ぶどうのみです。甘くて渋みが少ないことで有名な大野ぶどうの甘さと味わいが引き立つ贅沢な味わいのジャムです。



大野の干しぶどうケーキ

大野のデラウエアを使用した干しぶどうとクルミを混ぜて焼いたパウンドケーキです。大野の美味しいぶどうを年間通じて味わうことができる商品です。



最中 大野ぶどう 香樹

大阪狭山市の大野ぶどうを自社で干しぶどうにしています。オーブンで乾燥させたり天日にほしたり手間ひまかけて、やわらかめの優しい味に仕上げています。

図2-16 大阪狭山市「さやまのええもん」から抜粋〔資料：大阪狭山市商工会HP「大阪狭山ブランド⁷」〕

⁶ さやまのええもん：大阪狭山市内で購入、またはサービスを受けることができる、お店自慢の「ええもん」。「さやまのええもんいいんかい」で審査・認定。大阪狭山ブランド認定申請の条件になる。

⁷ 大阪狭山ブランド：平成22年より始まった大阪狭山市商工会の事業。大阪狭山を代表する地域資源『桜』『大野ぶどう』『狭山池』を活用した商品・サービス等で、販売促進活動を通じて、大阪狭山の魅力発信、都市イメージの発信・向上に大きく寄与できるもの。「大阪狭山ブランド認定委員会」で審査を行い、基本コンセプト・商品コンセプト・独自性・信頼性・将来性等を採点した上で認定。

(4) 大阪狭山市の郷土料理と行事食

郷土料理として、「オカイサン（お粥さん）」、「ジャゼ豆」、行事食として「オヒラ」、「アカネコもち」などがあります。



オカイサン

茶粥が主流です。大阪狭山市史によると、昭和初期には増量を兼ねてさつまいもを入れるイモオカユが主流で、白米は正月だけ、というのが一般的でした。



ジャゼ豆

大豆に色々な野菜を混ぜ合わせて煮たものです。「ジャゼ」とは雑物、混ぜ物の意味です。



オヒラ

元日や誕生日、お食い初めなど、めでたい時につくる煮物です。椎茸、にんじん、ゴボウ、竹の子、ササギ、かんぴょう、高野豆腐、かまぼこ、にぬき（ゆで卵）などから、5色か7色（奇数の材料）を炊いたものです。



アカネコもち

小麦ともち米で作った餅です。田植えが終わった後のはんげしょう半夏生⁸にとれたばかりの小麦を使って作りました。小麦の精製が十分でなく色が赤みを帯びていることと、やわらかく、形が猫の背のように見えたことから「アカネコ」と呼ばれました。

⁸ 半夏生：かつては夏至から数えて11日目のこと。現在は、7月2日頃にあたとされている。